

2012年
2月3日 (第583号)
(毎週金曜日、70,000部発行)

週刊

発行所 大阪読売サービス(株)
編集センター ☎ 06・6364・9454 F A X 06・6364・9092
〒530・0055 大阪市北区野崎町5-9 読売新聞大阪本社内
高松編集室 ☎ 087・833・1791 F A X 087・833・1793
〒760・0017 高松市番町1-10-21 読売新聞高松総局内

スポーツ報知
SPORTS HOCHI

新規購読キャンペーン
3ヶ月以上新規でご購読頂きますと
月刊ジャイアンツ(最新号1冊)をプレゼント!

購読のお申し込みは...
報知新聞大阪本社
0120-16-4341

巨大なボールを床に落とさないようにレシーブしながら攻防を繰り返す、キンボールスポーツの「第12回ジャパンオープン・フレンドリーカップ」が今月18、19の両日、高松市総合体育館で開催される。四国で初めて開かれる全国大会に向けて、県キンボールスポーツ連盟は大会を盛り上げようと、奮闘している。

弾丸 闘志 四国初の全国大会

汗
まじり

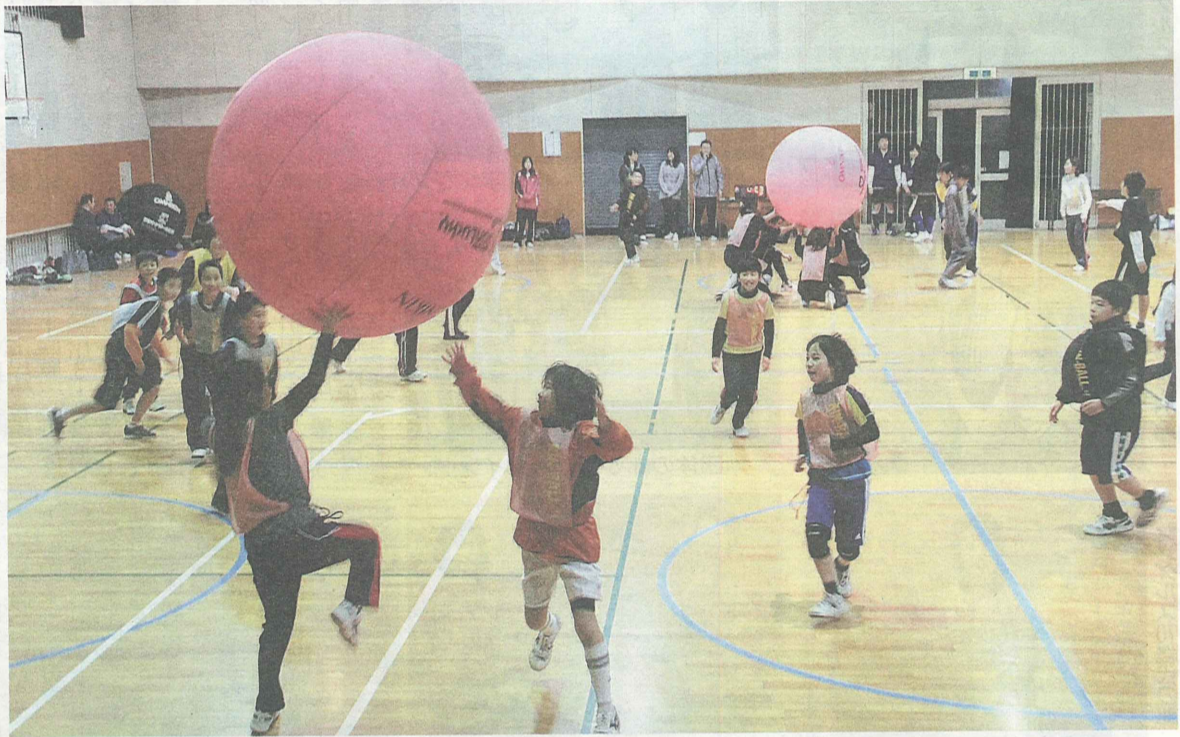
同競技はカナダで始まり、1998年に国際キンボール連盟日本事務局が発足。2005年に県連盟が設立された。県内の競技人口は500人を超え、普及活動の成果が認められて、全国大会の開催地になった。ゲームは、ピンク、グレー、ブラックに色分けされた3チーム(1チーム4人)が一緒にプレー。ヒット(サーブ)権を得たチームが直径122センチのボールを打ち、守りのチームが床に落とさないようにレシーブしながら打ち返し、得点を競う。

今大会はジュニア、レディース、一般など7部門に分かれ、約100チーム(県内約40チーム)が参加する。県内の各チームは、開催県にふさわしい活躍をしようと、合同練習などを実施してレベルアップに努める。土居正則・県連盟会長(67)は「ゲーム展開がスピーディーになり、戦術も多彩で県内のレベルが上がった」と期待する。



全国大会を盛り上げるぞ!

キンボールスポーツ



県内の各チームが集まって合同練習に汗を流す

一般の部に参加する大久保真二さん(42)は全国大会の出場経験者。「全国大会では思いもよらないプレーがいっぱい繰り返される。そんなプレーであっと驚かすようなことができた」と力を込める。

本郷和徳さん(38)はトップクラスの強豪チームに所属する。「ボールにスライスをかけたり、スピードに変化をつけたり、サインを出したりと腕を磨いてきた。今回は必殺技もあり、優勝を狙う」と

開催県らしい活躍を

張り切る。

レディースの部の西井南苗さん(34)のチームは優勝候補の一角。「楽しく頑張る。そして優勝カップを」と闘志を燃やす。

始めて半年という加藤裕香子さん(35)のチームはフレッシュさが魅力。「すればするほど奥が深い。目標は予選突破です」と話す。

高松市立川東小5年生メンバーも元気いっぱい。藤澤想さんは「気合が入ってます」とガッツポーズ。池田美瑠さんは「レシーブをしっかり取りたい」、加藤早織さんは「明るく楽しく乗れるチーム」、平池彰悟君は「しっかり守ってみんなを支え、入賞を目指したい」と目標を掲げる。

土居会長は「お遍路の地らしく『おもてなし』の気持ちで県外チームを迎えたい。そして、香川でよかったと思える大会にしたい」と意気込んでいる。



巨大なボールを打つ

応援歌

県教育委員会保健体育課の川平建三郎さん(44)は「〈普及には熱く、指導は楽しく優しく〉と頑張った連盟の成果が今大会の開催に結びついた。ほかのいろいろなニュースポーツの広がりにつながれば」と大会の成功を楽しみにしています。

餃子の王将



うまいやすいはやい
食の三冠王。